

小糸地区住民 ウェブアンケート集計結果 (一部抜粋)

小糸公民館開館50周年記念事業

令和3年度実施

ウェブアンケート調査の目的

| 調査の目的

小糸公民館は令和3年度に、開館から50年を迎えました。
このたび、50年の節目にあたり、小糸地区の皆様を対象に、
オンラインによるアンケートを実施させていただきました。

次ページより、**ウェブアンケートの集計結果**をご報告いたします。
結果については、皆様の生活に役立つ公民館活動を
展開していくために活用させていただきます。
みなさまも、今回の集計結果を、ご家庭や地域で
話題にしていただけましたら幸いです。



ウェブアンケート調査概要

調査方法

Googleフォームを使用

調査期間

7月1日～8月31日

周知方法

- 自治会世帯配布 2 6 4 2 枚
- 君津市ホームページ
- 館内掲示及びサークルボックス投函

回答数

1 2 9 回答 (世帯配布数あたりの回収率 約4.9%)

内訳 ウェブ回答105 用紙回答24

小糸地区の皆様

令和3年7月1日
小糸公民館

小糸公民館開館 50 周年記念にあたり
「小糸地区住民ウェブアンケート」にご協力ください

小糸公民館は今年度、開館から 50 年を迎えることとなりました。
このたび 50 年の節目にあたり、小糸地区の皆様を対象に、オンラインによる
アンケート(Google フォーム)を実施させていただきます。
集めさせていただいたご意見は、集計した後、表示等を行い、皆様の生活に
役立つ公民館活動を展開していくために活用させていただきます。



◇回答期間 令和3年7月1日(木)～8月31日(火)
◇対象 原則、小糸地区に在住の方(年齢は問いません。1 人 1 回答まで)
◇回答方法 下記の手順をご確認いただきながら、回答してください
※オンライン上での回答で済みますので、後日の提出や収集作業はありません。
※ウェブでの回答が困難な方は、紙によるアンケート回答も小糸公民館にて行うことができます。

専用ページ「Google フォーム」にアクセス

右側のQRコードをスマートフォンのカメラ機能で読み取ると、
専用ページにアクセスできます

回答用サイト



質問項目について回答

回答方法には、選択式と記述式の2種類があります。回答の所要
時間は5～10分程度です(設問数は最大30問)

送信ボタンをクリック

画面の最下側にある【送信】ボタンを押すとアンケート終了です

回答後も編集可能

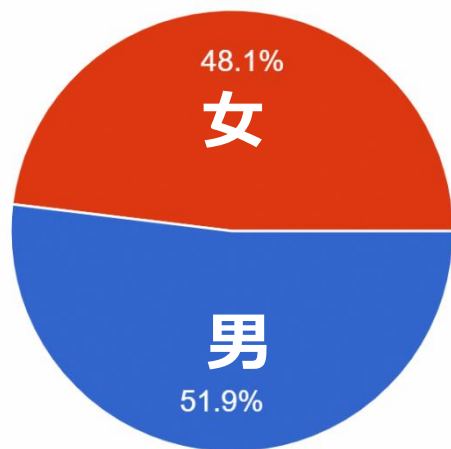
回答内容を編集したい場合には、【回答を編集】をクリックして修
正できます



■アンケートの回答方法などのお問い合わせ先
君津市小糸公民館 (君津市穂田 55)担当:あいざわ
Tel.0439-32-2184 メール:koito-k@city.kimitsu.lg.jp

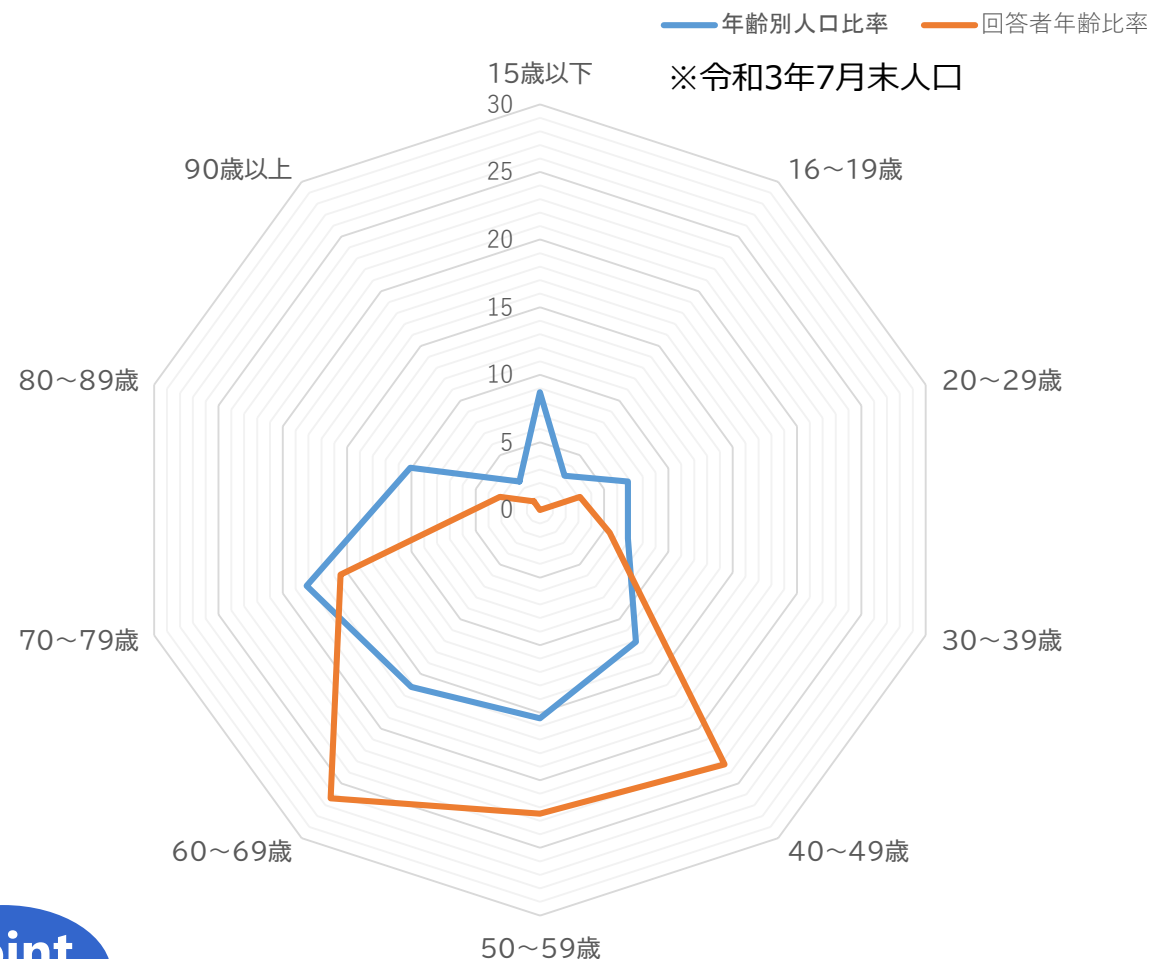
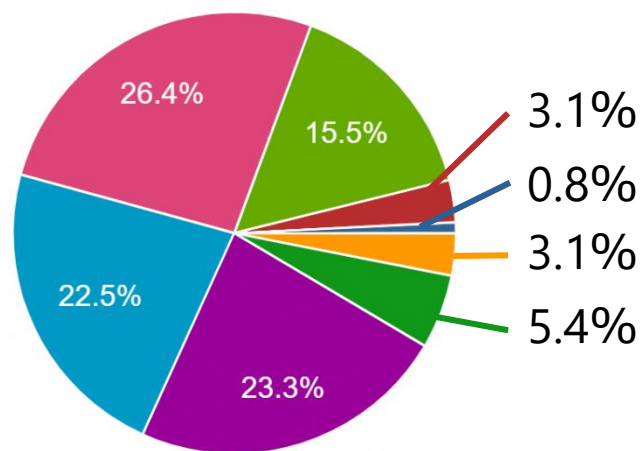
回答者【129名】の属性

性別



年齢

- 15歳以下
- 16～19歳
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70～79歳
- 80～89歳
- 90歳以上

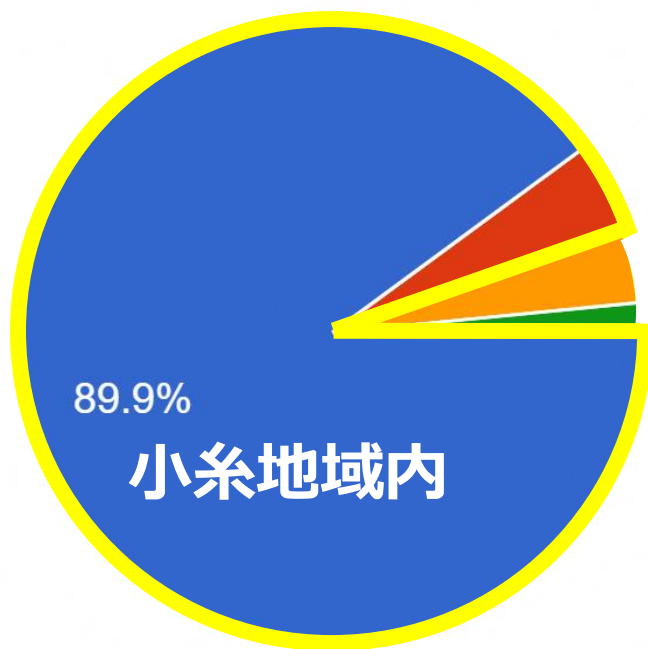


Point

回答者の男女差はほとんどなく、年齢は年齢別人口比率と比べると、**40～60代の回答が多くなっています。**

回答者【129名】の属性

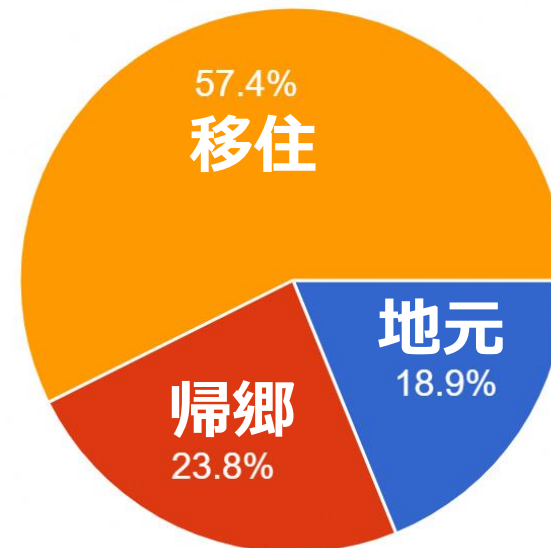
居住地域



- 君津市内（小糸地域を除く）
- 市外
- 県外

居住歴

小糸地域内、君津市内の回答者 122名



- 【地元】 君津市で生まれてから、君津市を離れて住んだことはない
- 【帰郷】 君津市で生まれてから、君津市を離れて住んだことがある
- 【移住】 君津市外から移住してきた

Point

回答者の居住歴は、「地元」の方よりも、君津市外から「**移住**」してきた方や「**帰郷**」してきた方が多かったです。

回答者【129名】の属性

君津市への転入理由

【帰郷】 【移住】 の回答者99名

※複数回答

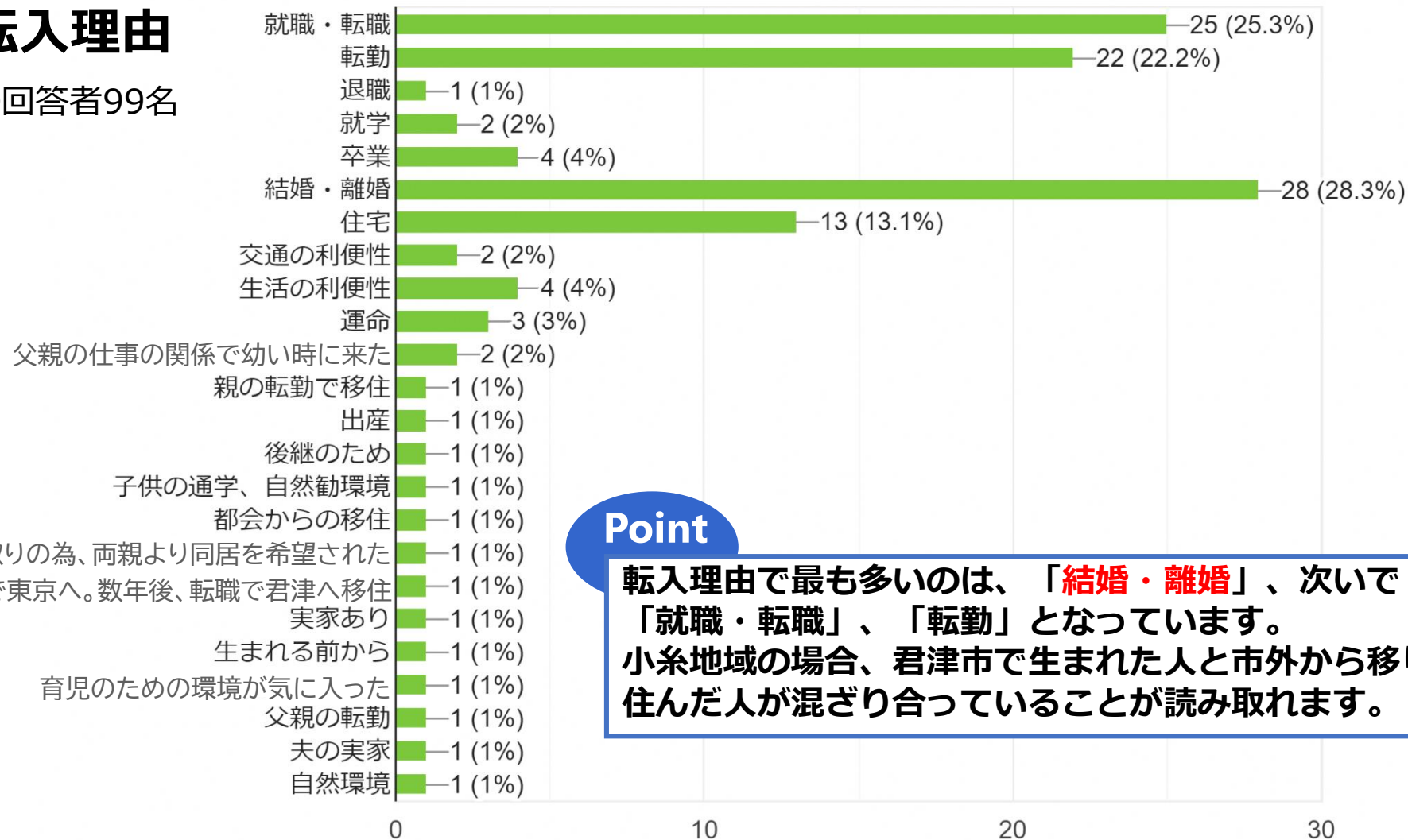
1位 結婚・離婚

2位 就職・転職

3位 転勤

4位 住宅

君津で生まれ、その後、就職で東京へ。数年後、転職で君津へ移住



Point

転入理由で最も多いのは、「結婚・離婚」、次いで「就職・転職」、「転勤」となっています。
小糸地域の場合、君津市で生まれた人と市外から移り住んだ人が混ざり合っていることが読み取れます。

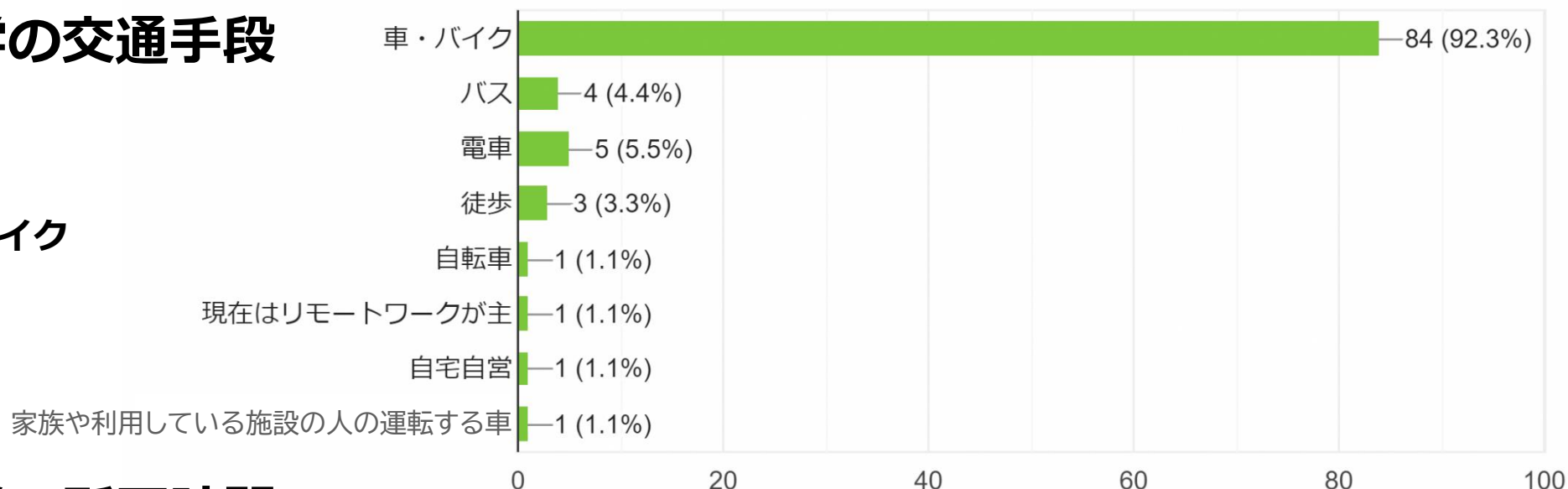
日常生活の状況

通勤・通学の交通手段

回答者90名

※複数回答

第1位 車・バイク

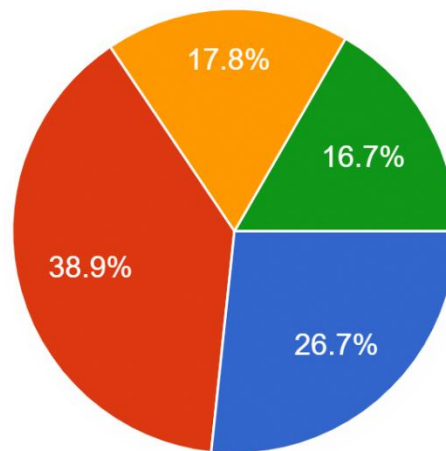


通勤・通学の所要時間

回答者90名

全体の65.6%が30分未満の所要時間

- 10分未満
- 10分～30分未満
- 30分～60分未満
- 60分以上



Point

通勤・通学で最も多い移動手段は、「車・バイク」で、通勤先も30分未満で通える範囲の方が多かったことから、**市内または君津地方4市までの範囲での勤務**ではないかと推察されます。

日常生活の状況

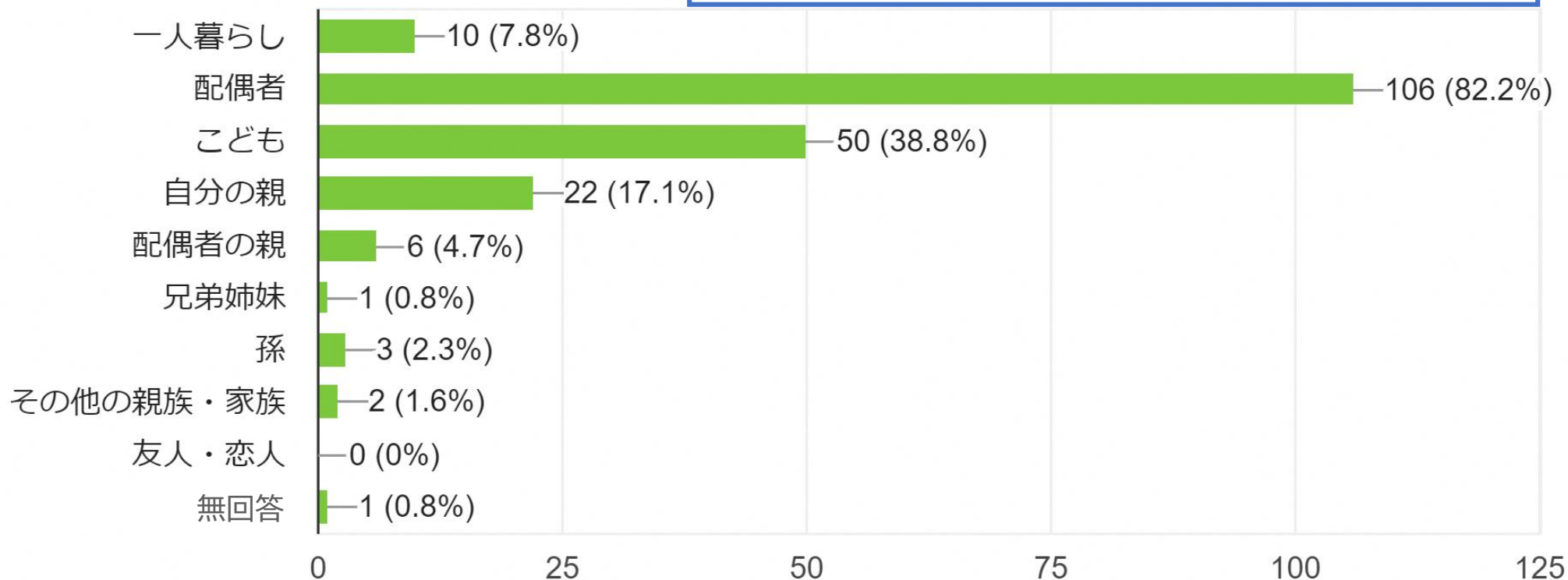
同居している家族構成

回答者129名

※複数回答

Point

同居している家族構成では、配偶者、子ども、自分の親の順で回答が多くありました。回答者が40～60代であることを考えると、**複数世代が同居**している状況が多いことが読み取れます。



生活用品の買い物状況

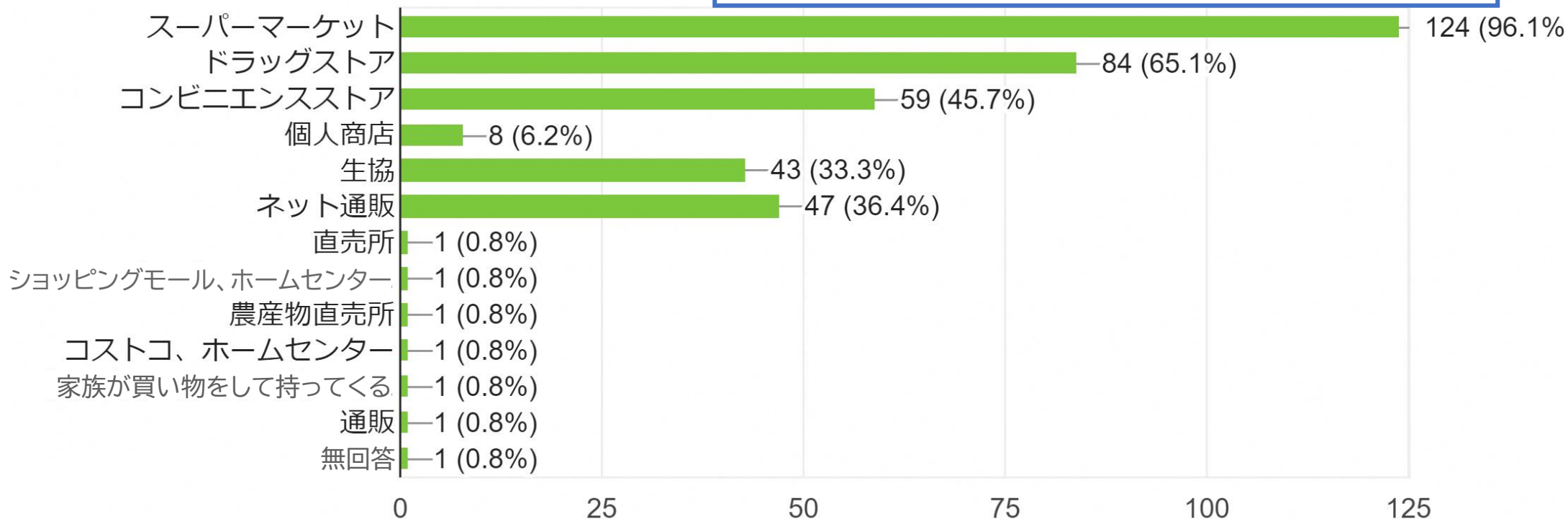
買い物先

回答者129名

※複数回答

Point

後の質問に出てくる「普段の生活での移動手段」の回答と組み合わせて、買い物先をみると、**自家用車などを使用して買い物を行っている**状況が読み取れます。
このほか、生協やネット通販の活用も見られました。



生活用品の買い物状況

買い物の困りごと

回答者129名

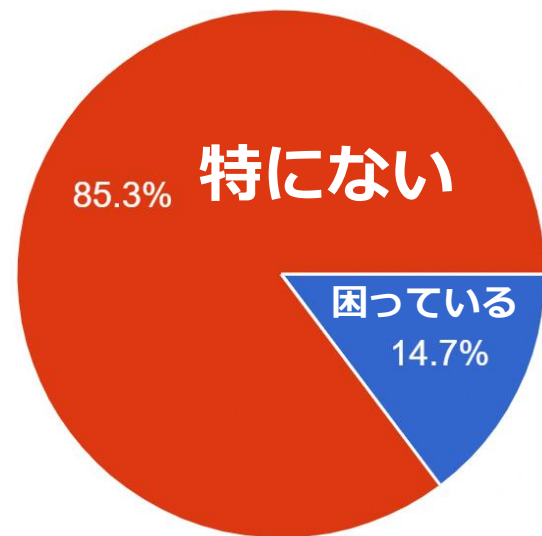
困っていると回答19名

※複数回答

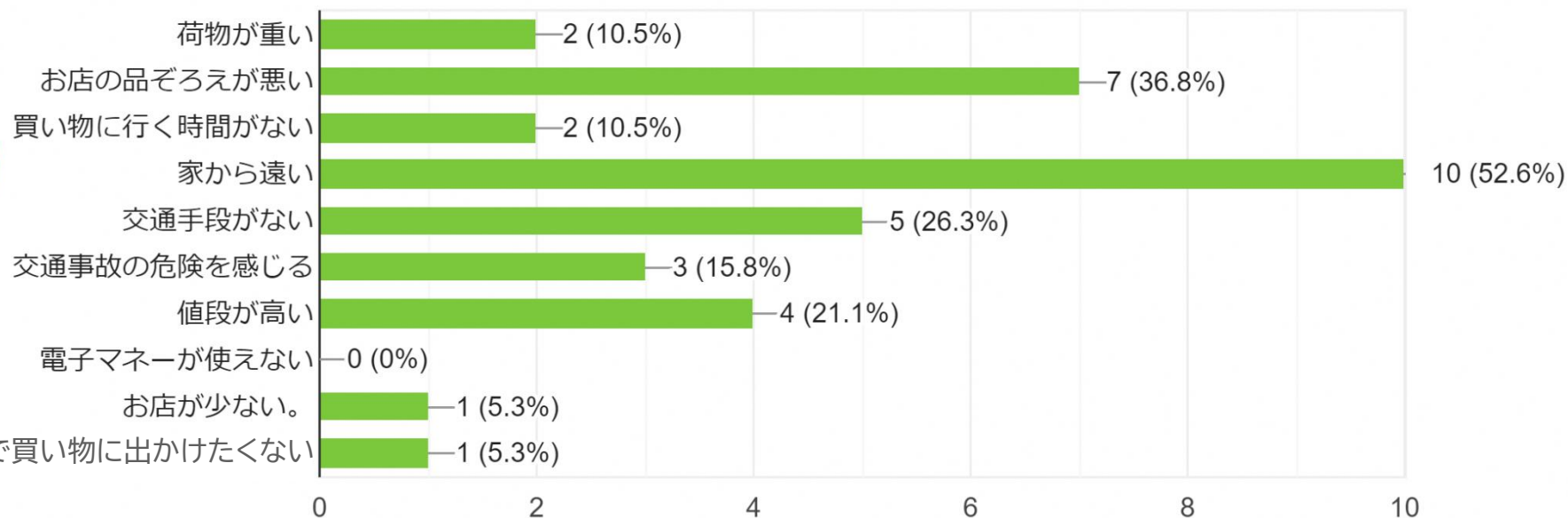
第1位 家から遠い

第2位 お店の品ぞろえが悪い

第3位 交通手段がない



男やもめが恥ずかしく、一人で買い物に出かけたくない



Point

先の質問で、生協やネット通販の活用のお答えもありましたが、買い物の困りごととして、「家から遠い」「交通手段がない」といった実態があります。また、コロナ禍でオンライン決済を取り入れ始めた方も多く、「お店の品ぞろえが悪い」と感じている方にとっては、ネット購入をすることの動機づけにもなっていると考えられます。

交通に関して

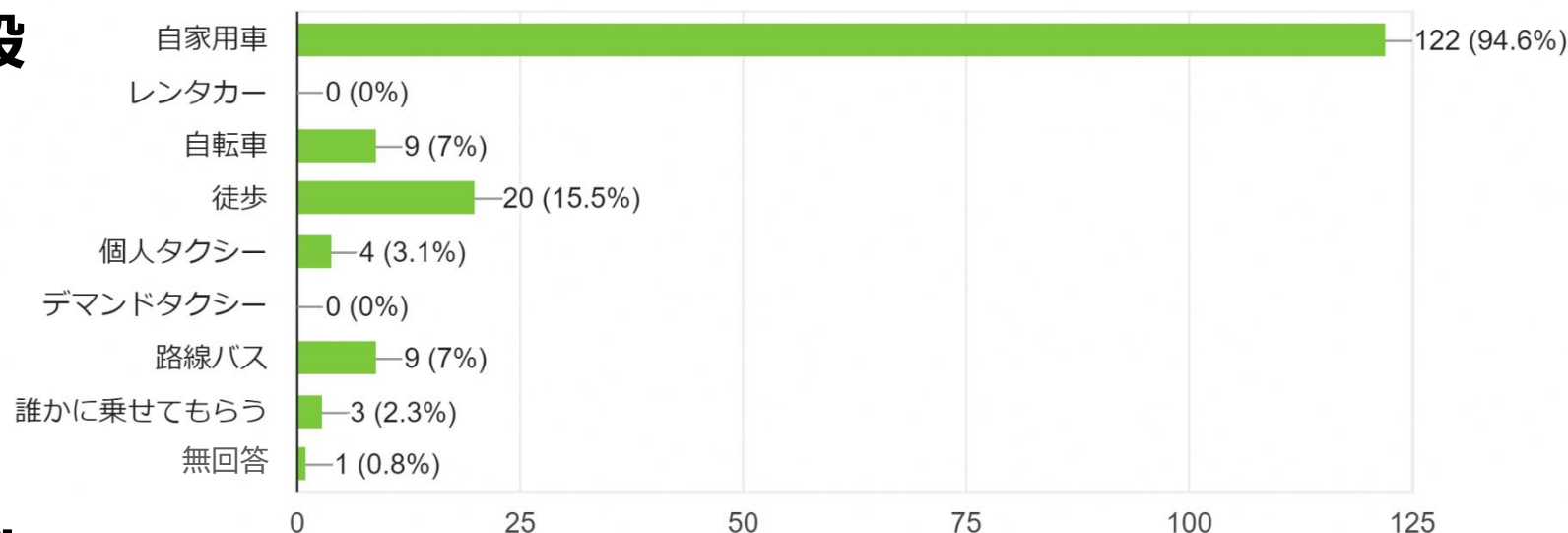
普段の生活での移動手段

※複数回答

第1位 自家用車

第2位 徒歩

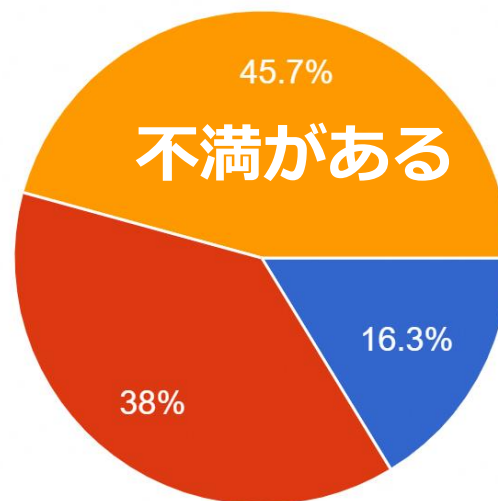
第3位 自転車、路線バス



君津市内の交通の利便性

不満があると回答59名（129回答中）

- 満足
- どちらともいえない

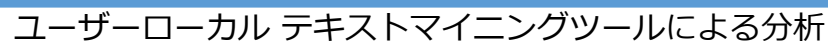


Point

移動手段では、自家用車を使用することが最も多い回答でした。
一方で、公共交通機関である路線バスについては、7%しかない状況でした。
君津市内の交通の利便性に対して、全体の半数近い人が不満を抱えていることがわかりました。

不満がある/どちらとも言えないの理由

…スコアが高い単語を複数選び出しその値に応じた大きさを図示しています。
色が品詞に対応しています。

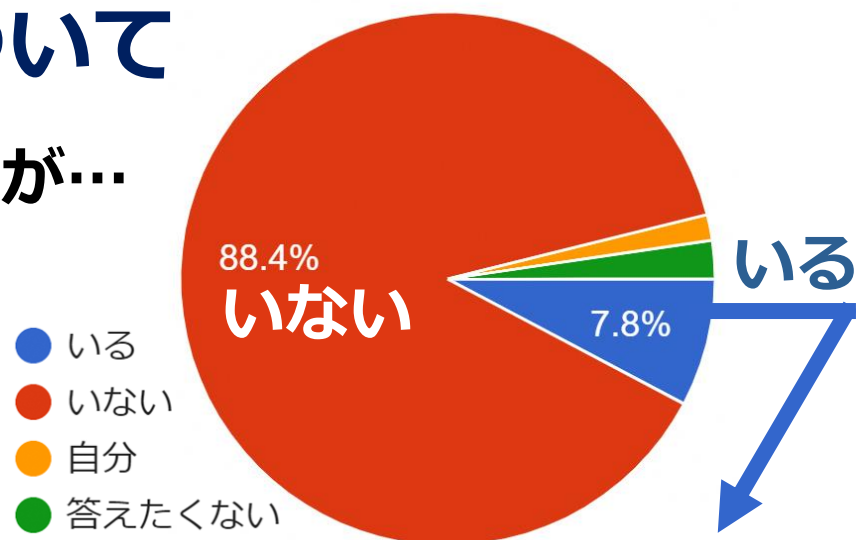


回答理由をみると、バスの本数やバス停までの距離、乗り継ぎの不便さ、現在は自家用車に乗れていても将来への不安感を抱えている方が多くいました。

※回答数は重複を含む

介護する不安について

家族に介護が必要な人が…



Point

ご家族に介護が必要な方がいると回答された方は7.8%。
そのうち、介護をしているのは、50～70代で性別に関係なくそれぞれ携わっているとのことでした。
今回の回答者の傾向として、**家族内での介護が多く、事業者による介護は少ない状況**でした。

介護をしている人

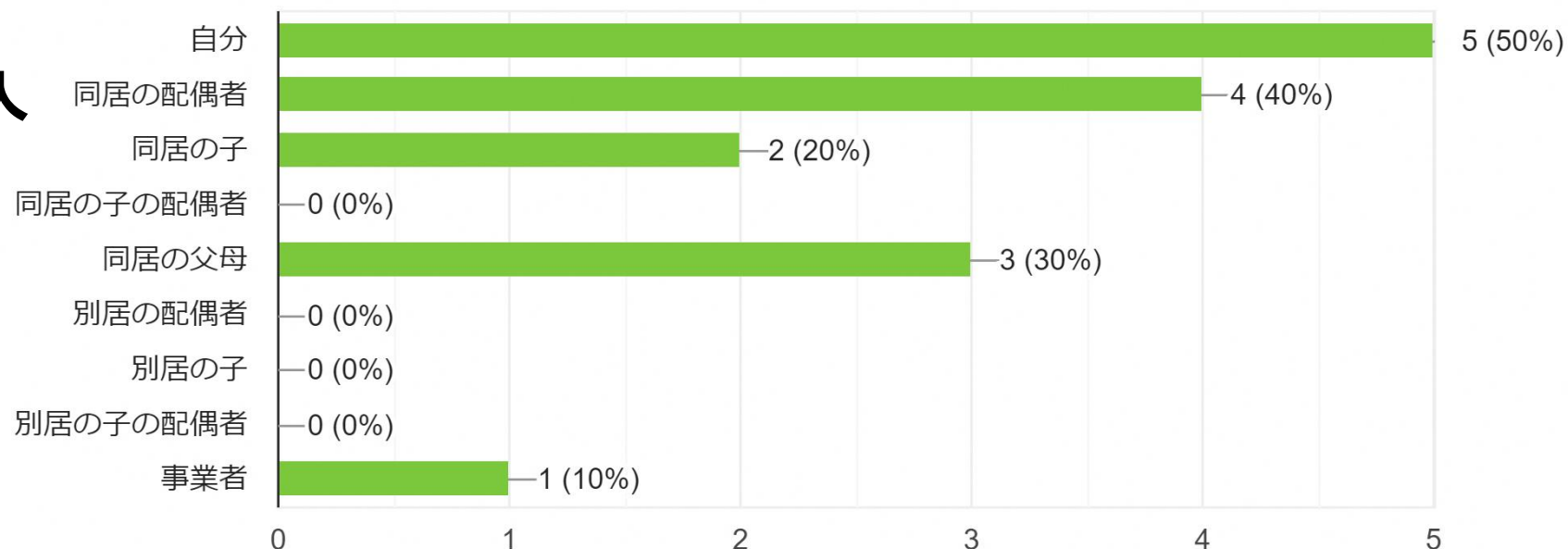
回答者10名

※複数回答

第1位 自分

第2位 同居の配偶者

第3位 同居の父母



介護する不安について

介護で不安に感じること

回答者129名

※複数回答

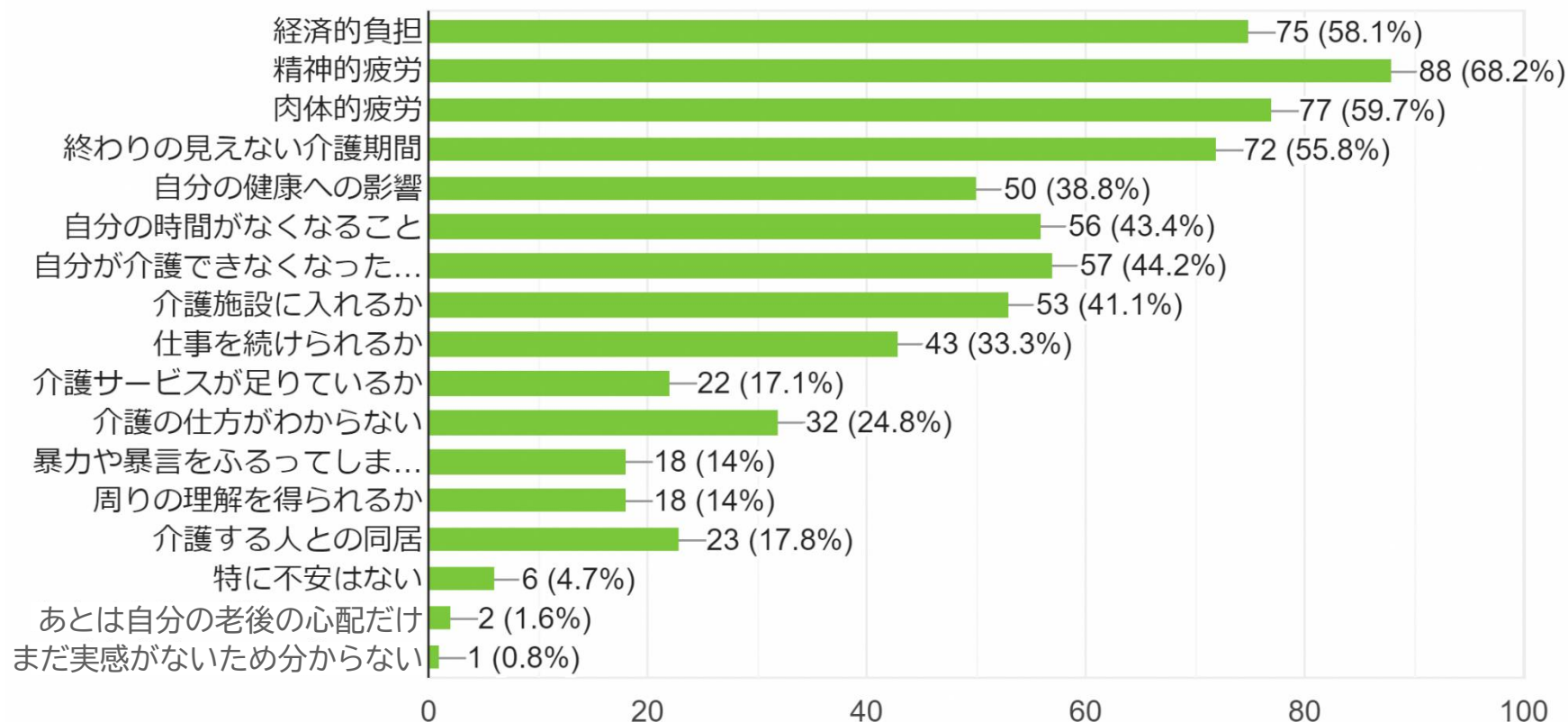
第1位 精神的疲労

第2位 肉体的疲労

第3位 経済的負担

Point

介護で不安に感じることの上位は、「精神的疲労」「肉体的疲労」「経済的負担」でしたが、複数回答のため、他の回答も高い数値となっており、**介護への不安の高さ**が伺い知れます。



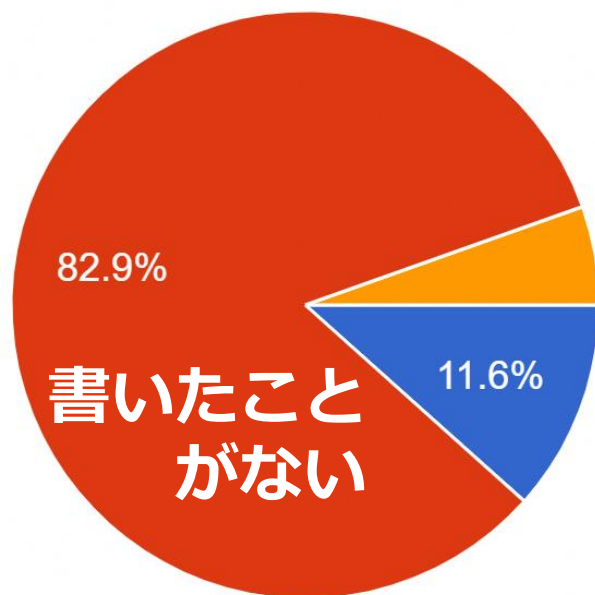
「エンディングノート」の認知度

エンディングノートを書いたことがありますか？

「エンディングノート」とは、自分の人生の終末について記したノートです。

万が一に備えて、家族や友人に伝えておきたいことや自分の希望などを書き留めておけるものです。

遺言書とは異なり、法的な効力はありません。



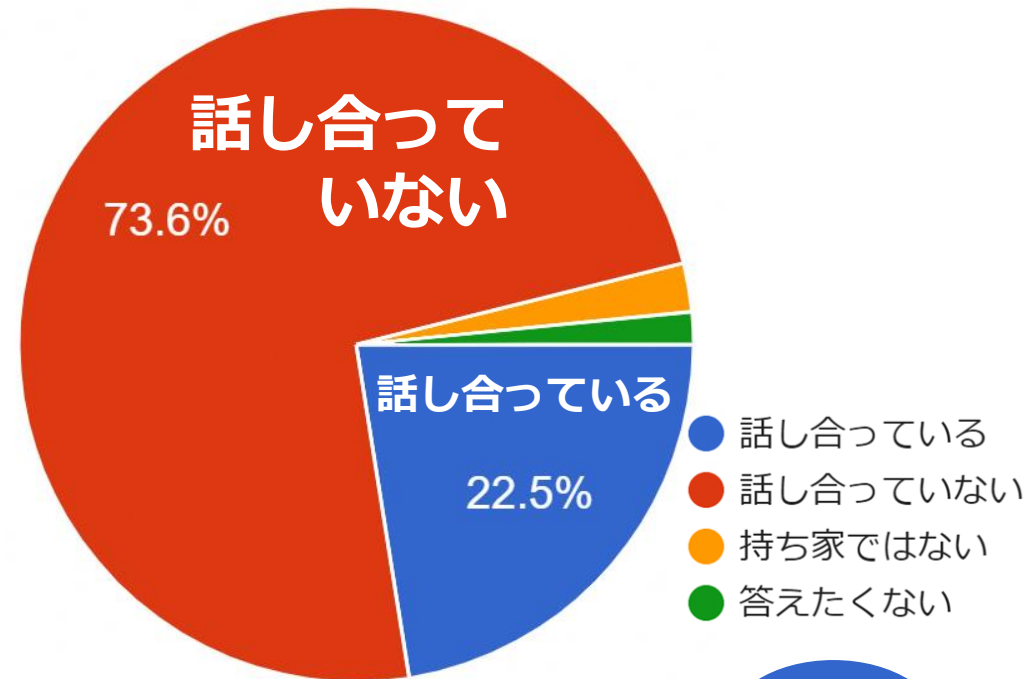
- 書いたことがある
- 書いたことがない
- エンディングノート自体を知らない

Point

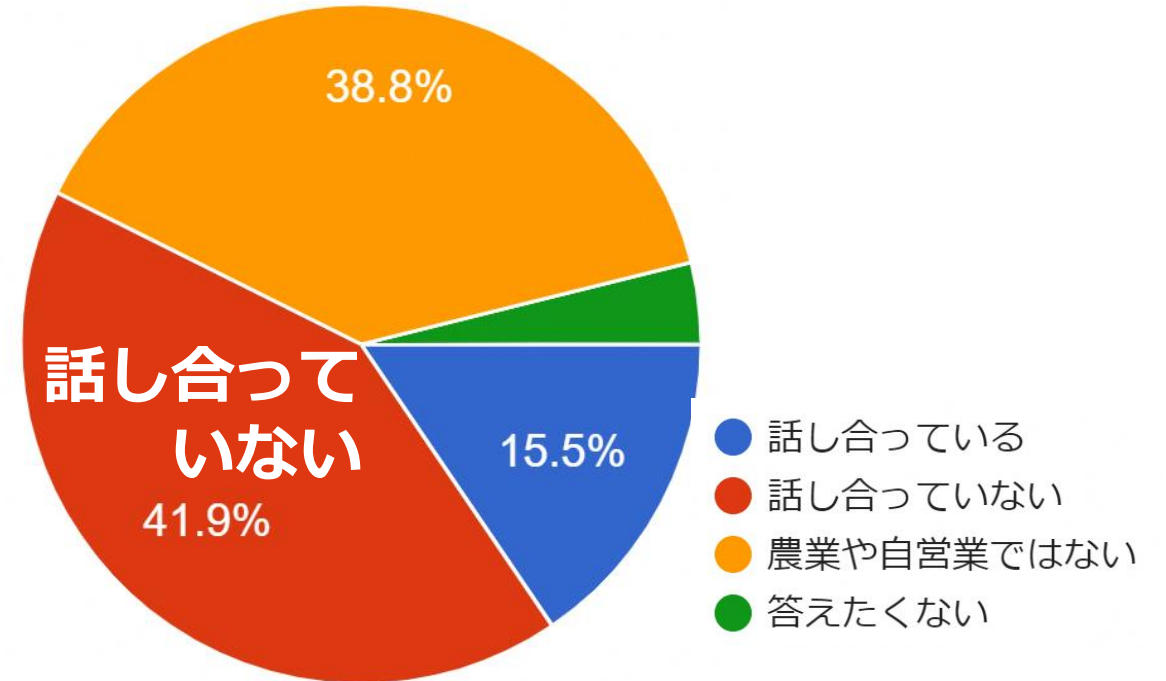
エンディングノート自体を知らない人も一定数ありましたが、ノート自体は知っていても書いたことがない方が大半でした。
回答者が40～60代が多かったことがその要因かもしれません。

将来に向けての対応

空き家になったときの対応



農業や自営業等の跡継ぎについて



Point

空き家になったときの対応や跡継ぎについて、「話し合っていない」との回答が最も多い結果でした。40～60代の回答者が多いのも要因の一つかもしれません。

獣害についての不安や心配

イノシシやサルの被害（獣害）についての不安や心配に感じること

回答者129名

※複数回答

第1位 農作物への被害

第2位 人への被害

第3位 対策を講じるための経済的負担

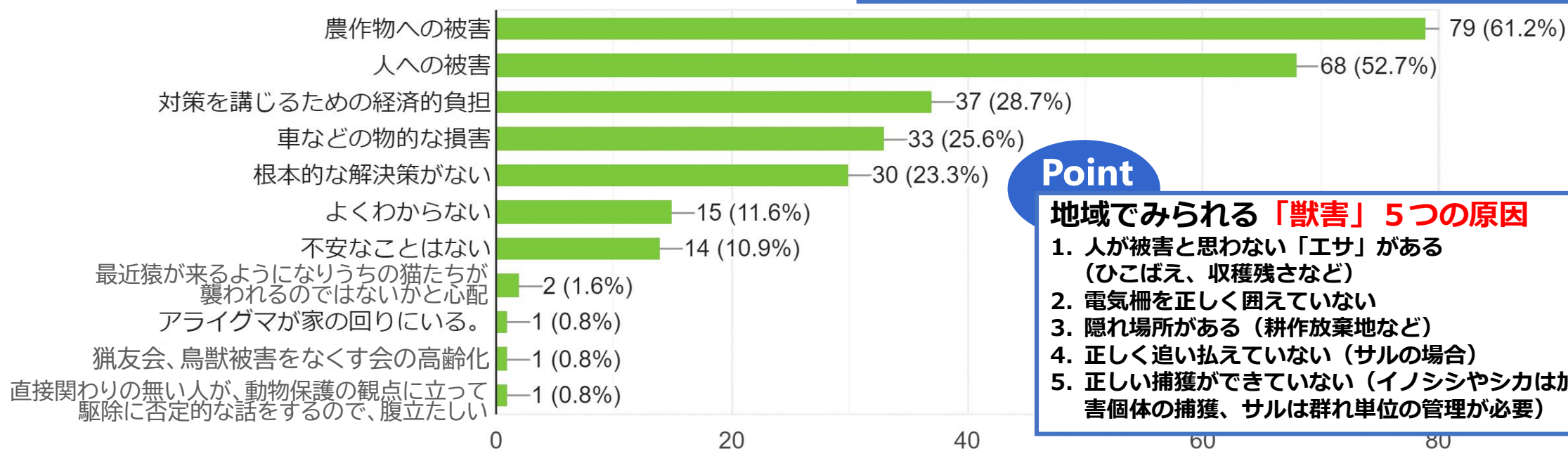
Point

里山に人の手が入らなくなったり、耕作放棄地が増えたりして、イノシシやサル等による被害が年々増えていることや電気柵設置など獣害対策の費用面での負担が回答として多くありましたが、根本的な解決策がなく、**人と動物の共存が課題**となっています。

Point

地域でみられる「獣害」5つの原因

1. 人が被害と思わない「エサ」がある（ひこばえ、収穫残さなど）
2. 電気柵を正しく囲えていない
3. 隠れ場所がある（耕作放棄地など）
4. 正しく追い払っていない（サルの場合）
5. 正しい捕獲ができていない（イノシシやシカは加害個体の捕獲、サルは群れ単位の管理が必要）



災害への備え

災害に対して日頃から取り組んでいること

※複数回答

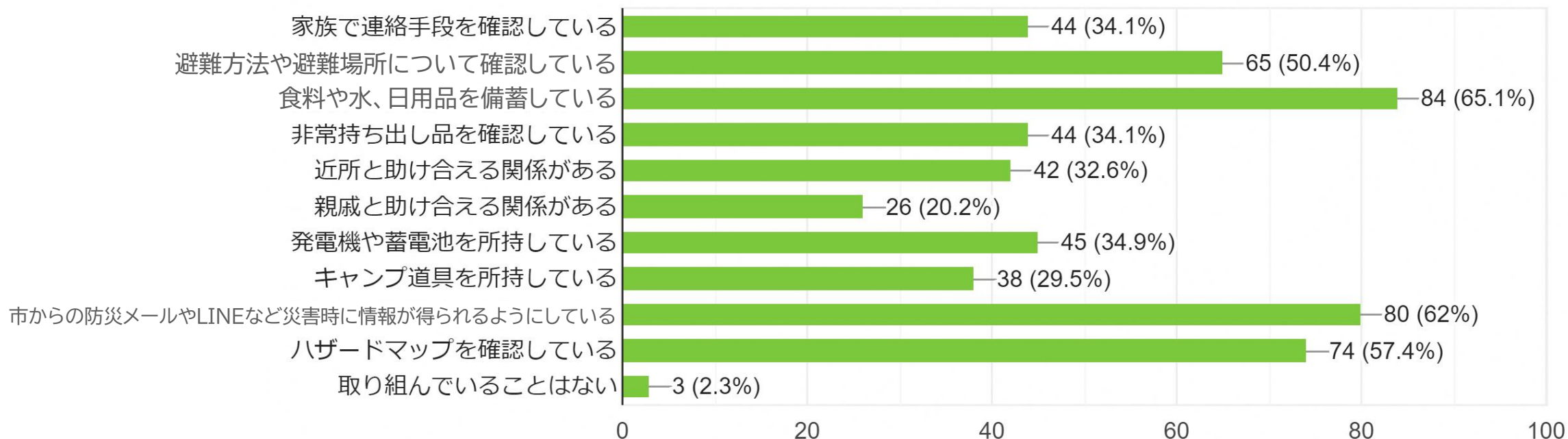
第1位 食料や水、日用品を備蓄している

第2位 市からの防災メールやLINEなど災害時に情報が得られるようにしている

第3位 ハザードマップを確認している

Point

令和元年房総半島台風（台風15号）の未曾有の被災経験もあり、**防災・減災意識の高まり**によって、日常的に備えをしている人が多くいることが分かりました。



日頃の相談相手

日常生活で困った時に相談する相手

※複数回答

第1位 同居家族

第2位 友人・知人

第3位 別居家族

同居家族

別居家族

近所の人

友人・知人

自治会関係者

民生委員・児童委員

生活支援コーディネーター

市役所などの行政機関

公民館

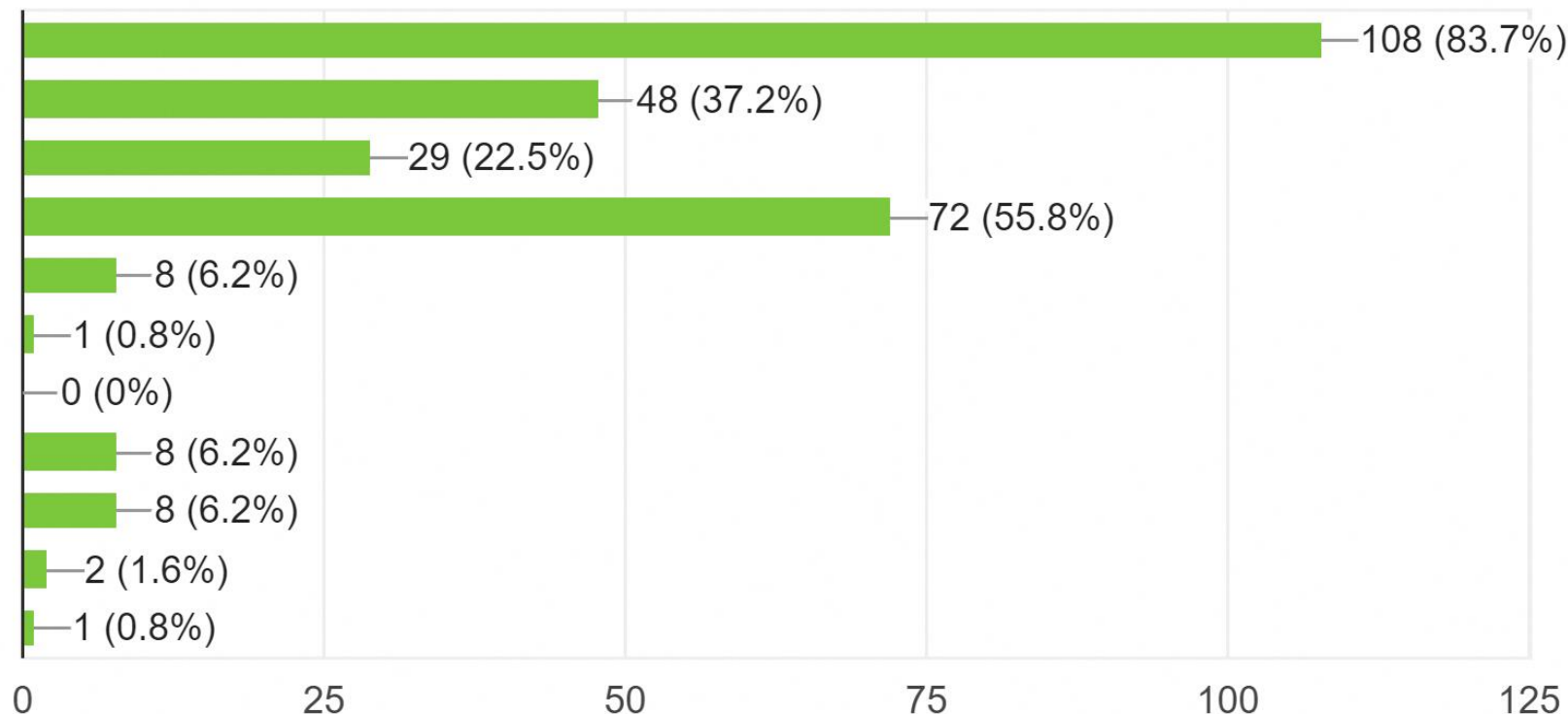
特に相談相手はいない

職場の同僚、上司

Point

日常生活で相談する相手の多くは、家族や友人・知人という結果でした。

このことは**公民館などで学んだことが本人だけでなく、身近な相手から相談を受けた際の助けにもなる可能性がある**ということを意味しています。



コロナ禍での暮らしの変化

新型コロナウイルスによる影響で暮らしの何が変わったか？

※複数回答

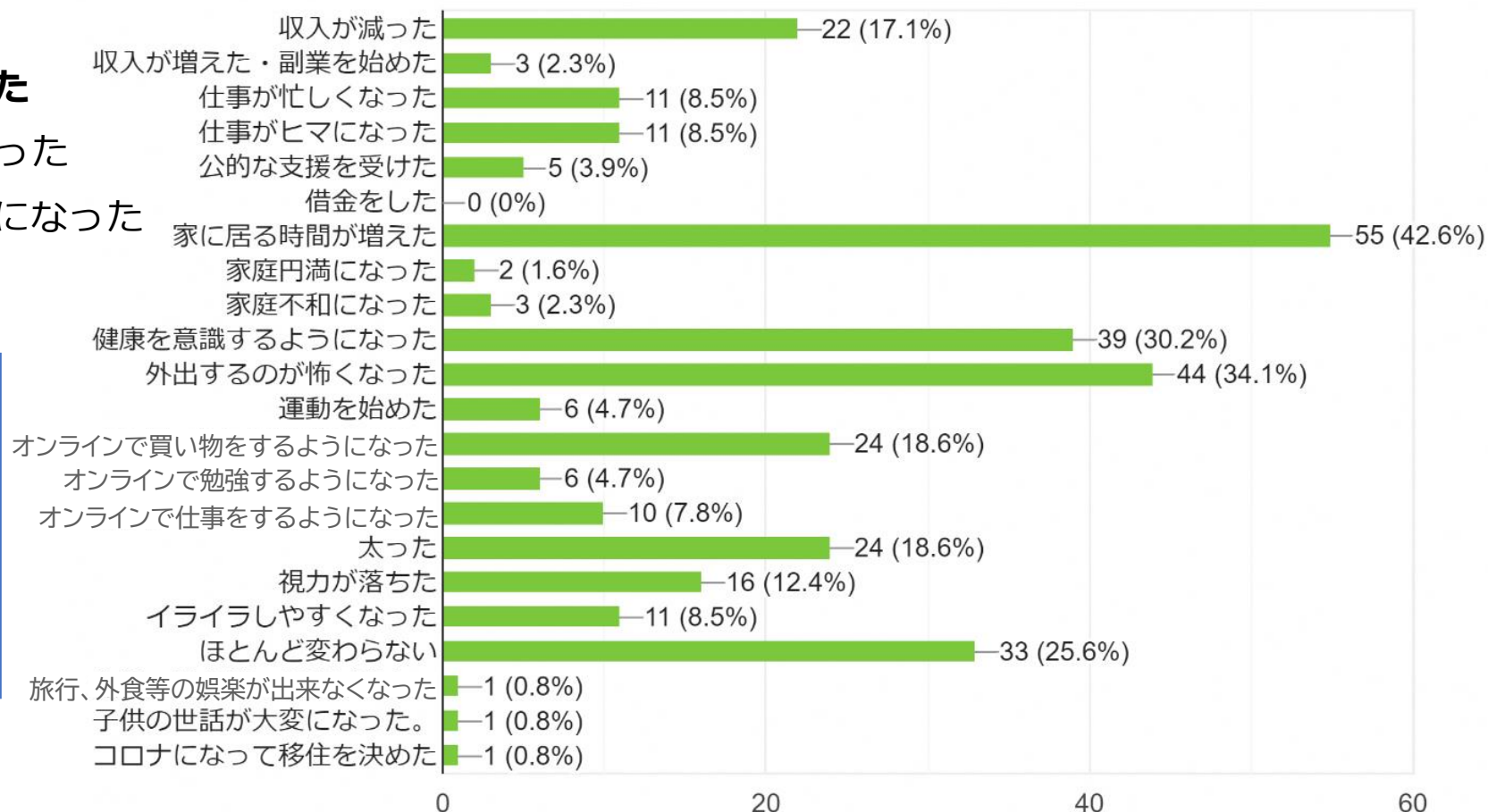
第1位 家に居る時間が増えた

第2位 外出するのが怖くなった

第3位 健康を意識するようになった

Point

コロナ禍で、健康意識の高まりの反面、外出を控える方が多くなったことが伺えます。おうち時間を過ごす期間が長くなったことで、コロナ太りやイライラしやすくなったなど心身への影響も出ているようです。



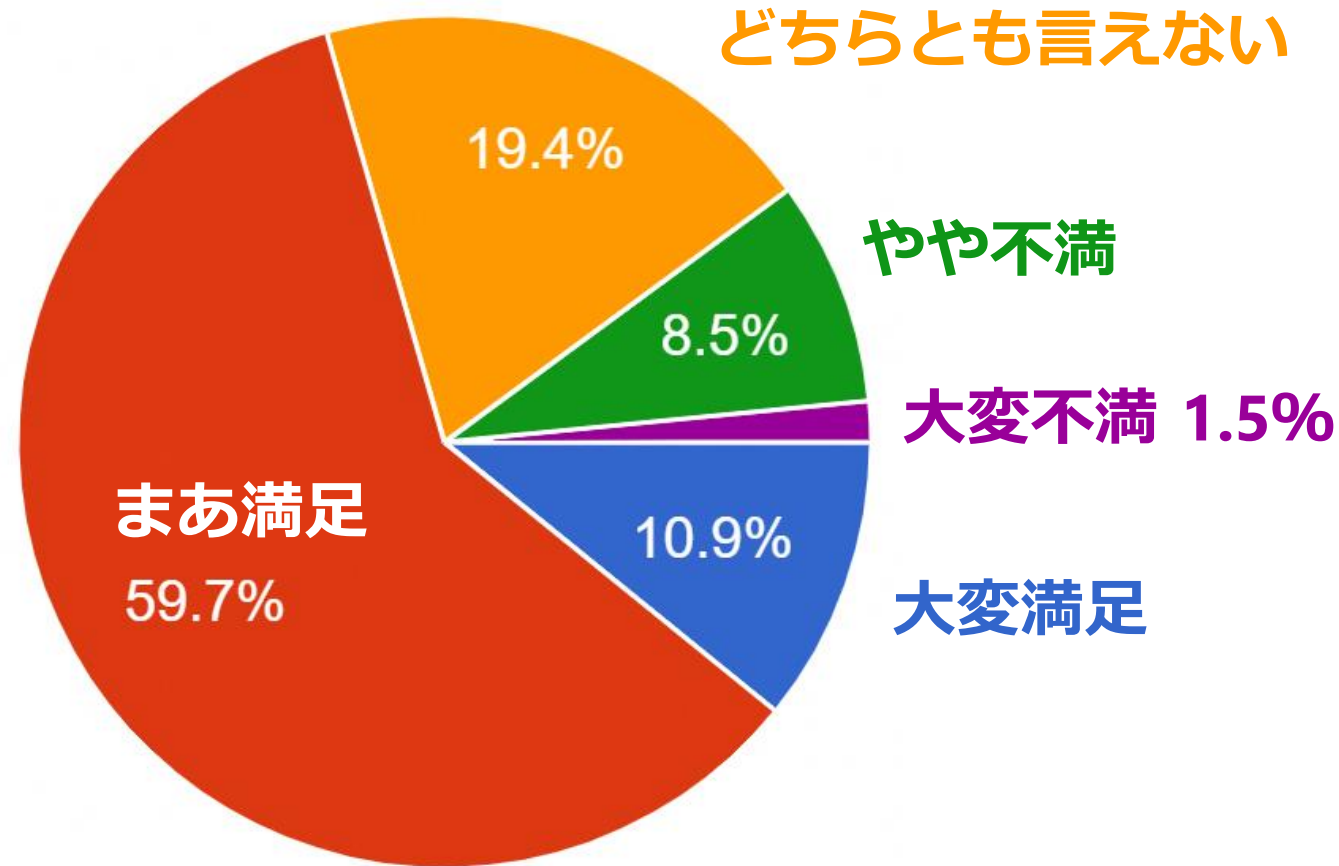
小糸地域への満足度

大変満足／まあ満足の回答割合

70.6%

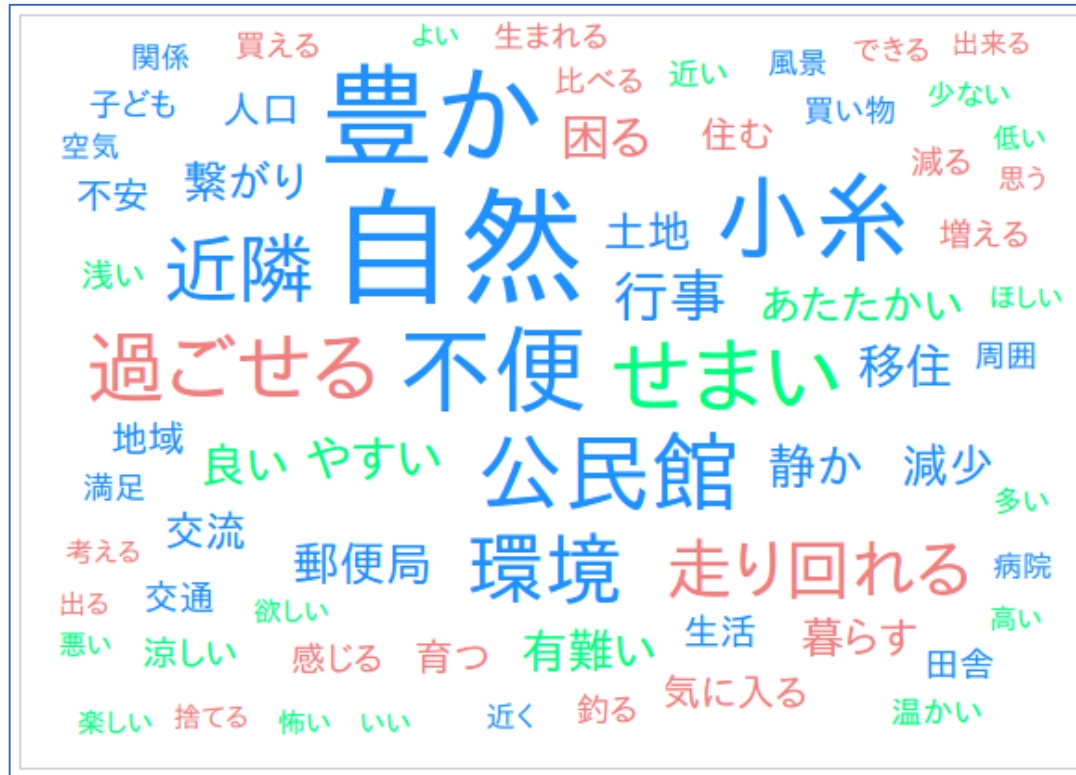
Point

満足と感じている人が全体の7割を占めていることから、**小糸地域への満足度が高い**ことが伺えます。それぞれの回答理由については次ページ以降をご覧ください。



小糸地域への満足度

大変満足／まあ満足 70.6%

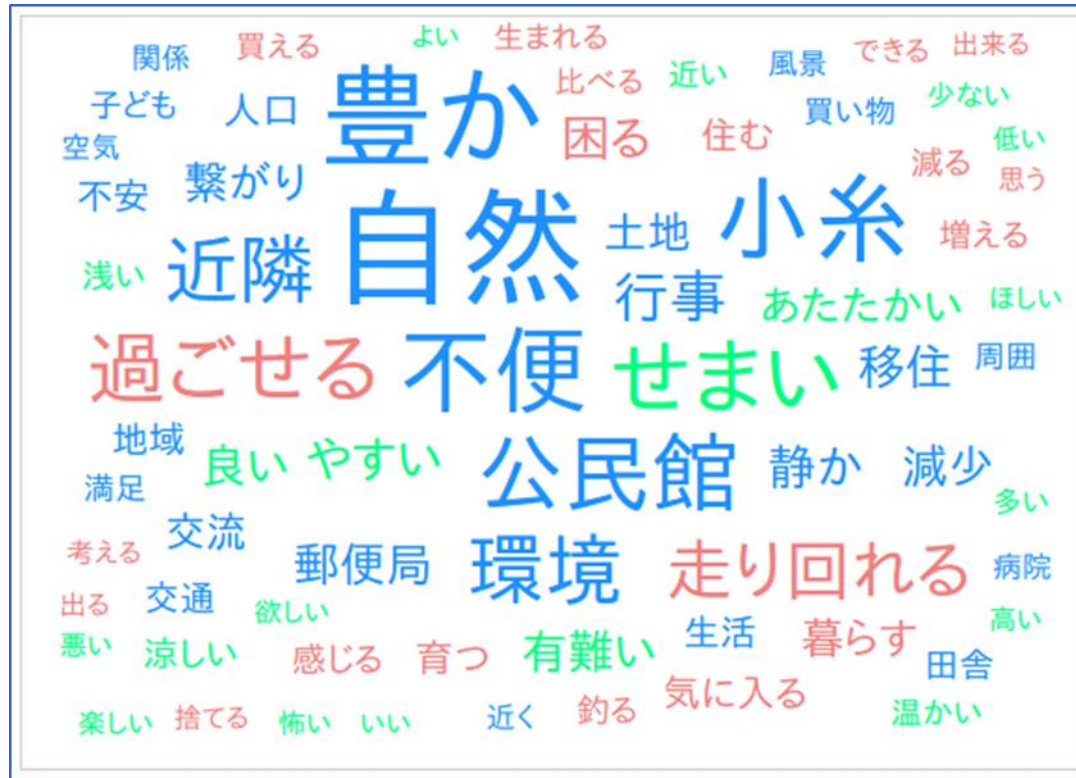


ユーザーローカル テキストマイニングツールによる分析

- 小糸地区で、ほぼ簡潔できる。スーパーもドラッグストアもホームセンターも病院も歯医者も郵便局も行政センターや公民館もあるし。あとは自然が身近でいい。
- 公民館活動が楽しい
- 子どもを育てやすい環境だと思います。
- 子どもが自然とふれあいのびのび遊べる。小糸公民館のプレイルームもお気に入り。
- 上総掘りの井戸のお陰で、災害時に水に困らなかった。狩猟関係で出会ったハンターや農家さん、小糸地区の友人知人から米や野菜、タケノコなどの山菜、猪鹿キジや釣った魚などの食材を無料または格安でいただけることが多い。
- 自然環境が気に入って移住しました。不法投棄や道端にゴミを捨てる行為が目につくことが不満です。環境維持にもっと力を入れて欲しいです。
- 自然豊かで市内に比べて格段に涼しいし静か。多少田舎でも今はネットでなんでも買えるので全く不便は感じない。
- 家の隣の空き地を借りて、無農薬で畑ができることは有難いです。ただ、空中散布は、やめてほしい。以前調子が悪くなりました。敏感なので怖いです。

小糸地域への満足度

大変満足／まあ満足 70.6%



ユーザーローカル テキストマイニングツールによる分析

- 人との繋がりも適度にあり、文化水準も高く、意識の高い人が多い。みどり豊かで、のどかなところも気に入っています。
- 近所の人との交流がある。(健康体操や子安講、春夏秋冬のお念仏、スクールバス停での集まりがある)
- 協力し合う地域性、地域を良くしようとする行動力(保全会)、仲間を大切に思う思いやりのある小糸が大好きです
- 移住から半世紀、ごく僅かではあるが、未だに新旧差別を感じる事がある。
- 自然があり、その空気からも元気をもらっている。しかし、現在はそう感じているものの、5年後、10年後の家の回り、田、畑などの管理が続けることが困難になるだろうという不安がある。(草・木・近所との協同作業の参加など)
- 今は、この小糸という土地柄(人、土地などの環境)に満足である。けれど、これからのことを考えると、高齢社会になることが目に見えているからである。家のまわりの自然界の相手ができなくなる→機械が動かせなくなるので、若い人がいなくなる。子どもがいなくなる→地域がどうなるだろう。

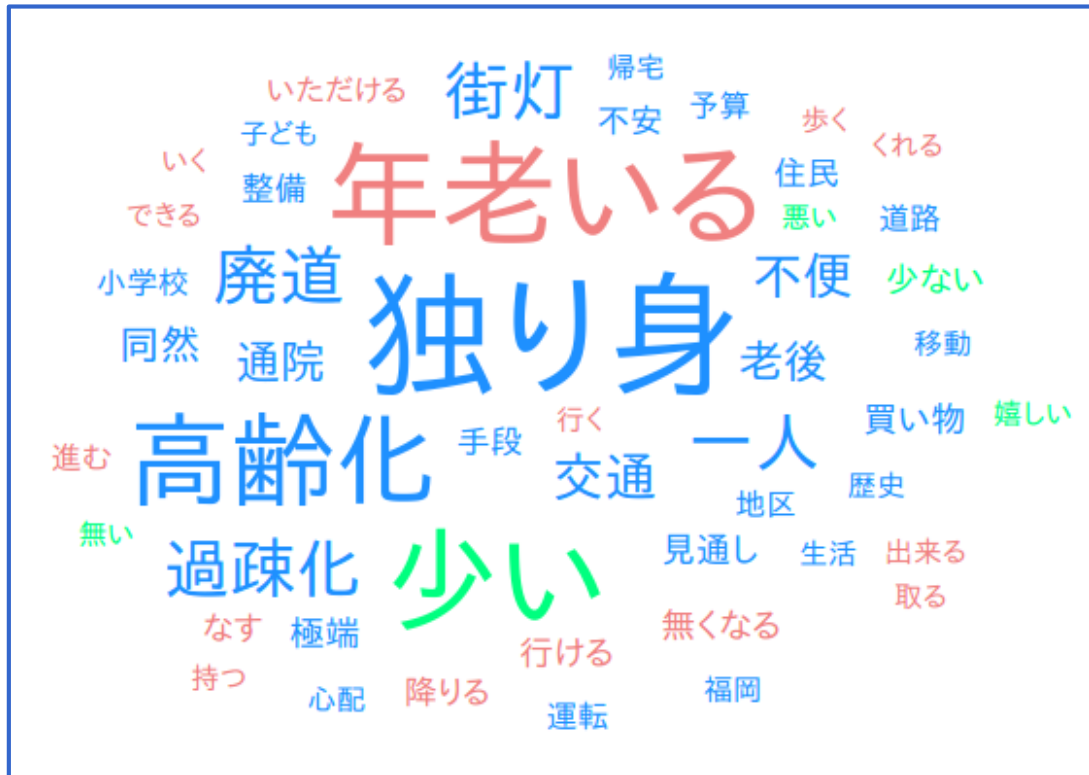
どちらとも言えない 19.4%



- 自然豊かで治安が良いのは大満足だが、少子高齢化に全く対応できていない。保育園や小学校が無くなり、子供の内から家と学校を車で往復、帰ってきて友達がいなければ、外で走り回って遊ぶ事も出来ない。若い内は何とでもなるが、老後、仮に家に若い世代が居ない場合、生活して行くことは恐らく出来ない。子育てと老後を考える時、大井戸を離れる事も選択肢としてあり得る。
- 満足・不満足とかではなく、唯一の故郷。
- 自然が多く庭付きの家が持て、犬の散歩などストレス発散になります。畑というか家庭菜園なども魅力です。一方交通の便が悪く、78歳の母は車がまだ手放せない状況です
- 自然は豊かでのんびりです。でも若い年代に魅力的なイベントとか環境が整っていない。例えば、孺恋村のように、過疎化していた広い原野をフェスティバル会場にまた後継者(次世代)問題→空き家 放置田畑活用しきれていない。二毛作を県外からの希望者に委託するとか。君津市は山間部が多く道路整備は台風影響など優先されます。山主との利害関係があるのかと思います。鴨川に抜ける道路に子どもが楽しめるサービスエリア、巨大アスレチックなど

小糸地域への満足度

大変不満／まあ不満 10%



ユーザーローカル テキストマイニングツールによる分析

- 福岡口参道が道路整備がなされず、歴史ある道なのに廃道同然になっている事。
- この地区に予算が降りてこない
- 車が無いと生活できないので老後の移動手段が心配。買い物や通院が一人で行けるか不安。
- 交通について。住民の高齢化(子どもが少い)。
- 小学校が無くなった
- 交通が不便。高齢化、過疎化が進む地域であること。年老いていくと運転も出来なくなり孤立するのではないかという不安がある。
- 買い物が不便
- 歩いて行ける飲み屋(焼き鳥屋など) 少ない。
- 台風15号の時、車もない独り身にとって、非常水を取りに行けなかった。娘が車で水を持ってきてくれなかったらどうなっていたか。 独り身の存在をデータ化し、配給システムを充実していただけたら嬉しいです。

“これまで”の小糸公民館について

Point

最も回答が多かったのは、小糸地区文化祭でした。
今回、「成人を祝う集い」を入れていませんでしたが、選択肢にあれば結果も違っていたかもしれません。
台風15号での避難所として公民館を利用したケースもあり、ほかにも多岐にわたる利用が挙げられた一方、「使ったことがない」と回答した方も10%いらっしゃいました。

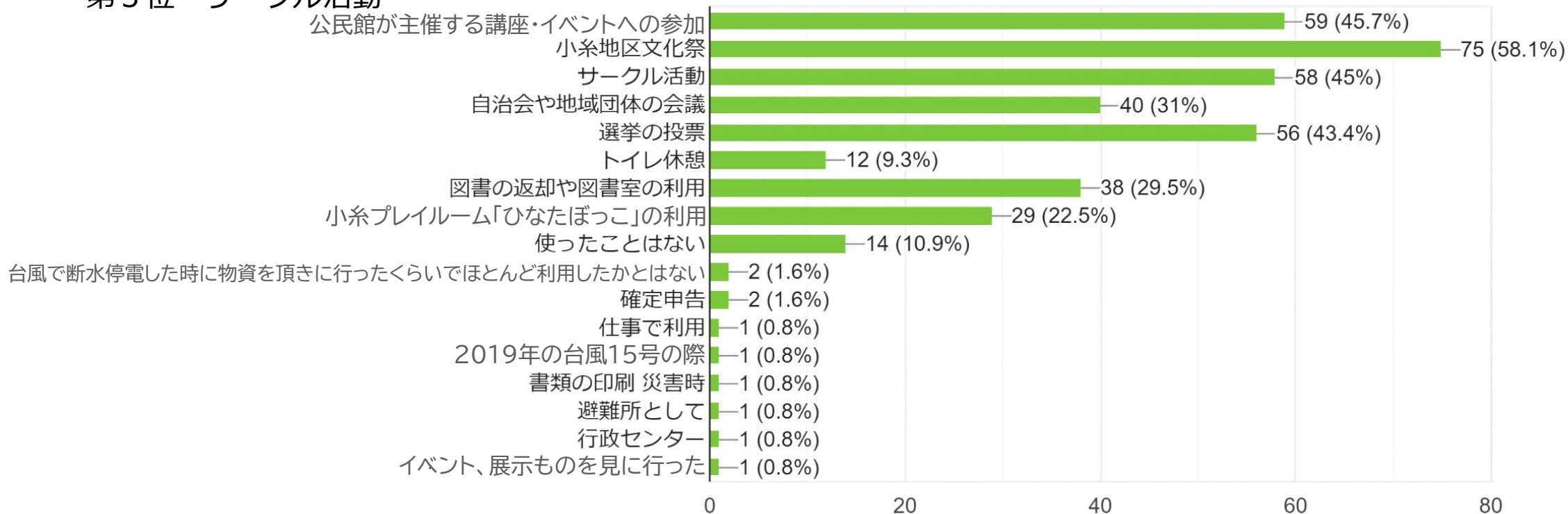
小糸公民館の利用経験

※複数回答

第1位 小糸地区文化祭

第2位 公民館が主催する講座・イベントへの参加

第3位 サークル活動



“これから”の小糸公民館について

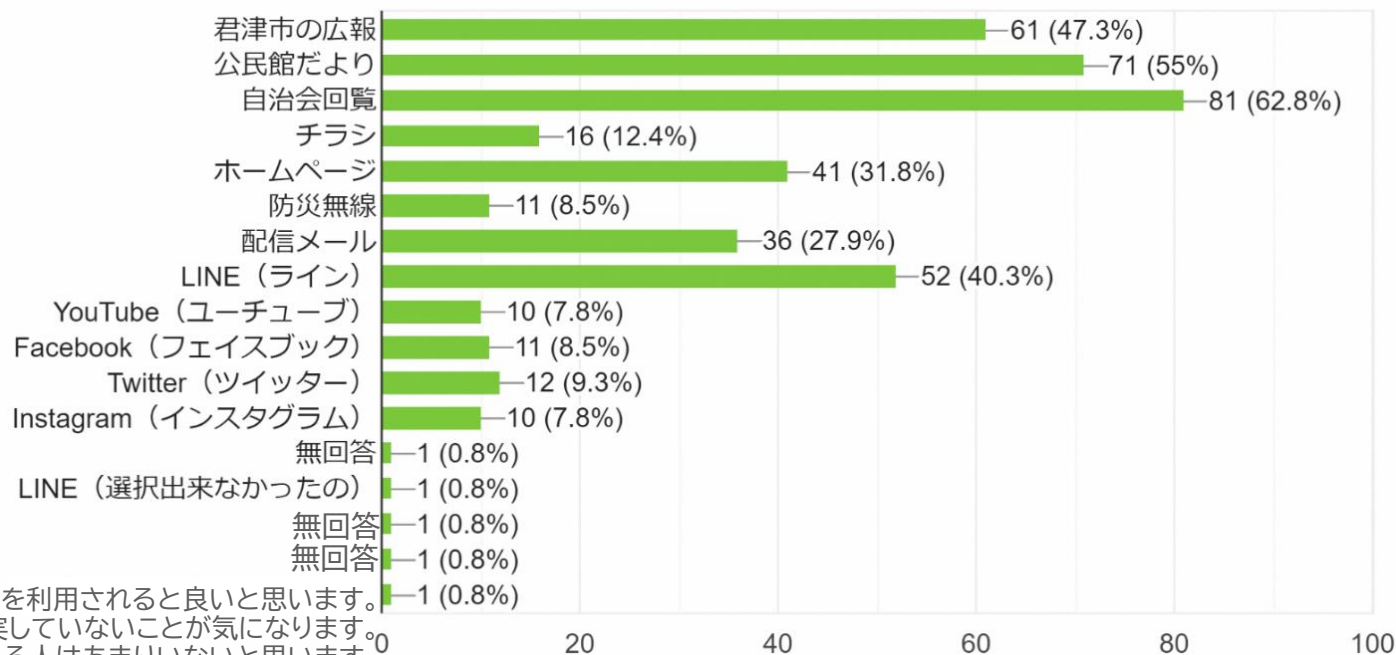
今後の公民館からのお知らせ方法

※複数回答

- 第1位 自治会回覧
- 第2位 公民館だより
- 第3位 広報きみつ
- 第4位 LINE
- 第5位 ホームページ

Point

従来の方法での周知方法を求める声が多いと見える結果ですが、今回のアンケートの周知そのものが自治会回覧を使用したこともあり、自治会回覧の回答が最も多くなっている可能性もあります。
一方、LINEやHPなどオンラインでの周知を望む声があることも明らかになりました。



通常の紙媒体等での発信を継続しつつ、WEB媒体を利用されると良いと思います。
SNS云々の前に、公民館HPが充実していないことが気になります。
情報が定期的に更新されないサイトを積極的に見る人はあまりいないと思います。

“これから”の小糸公民館について

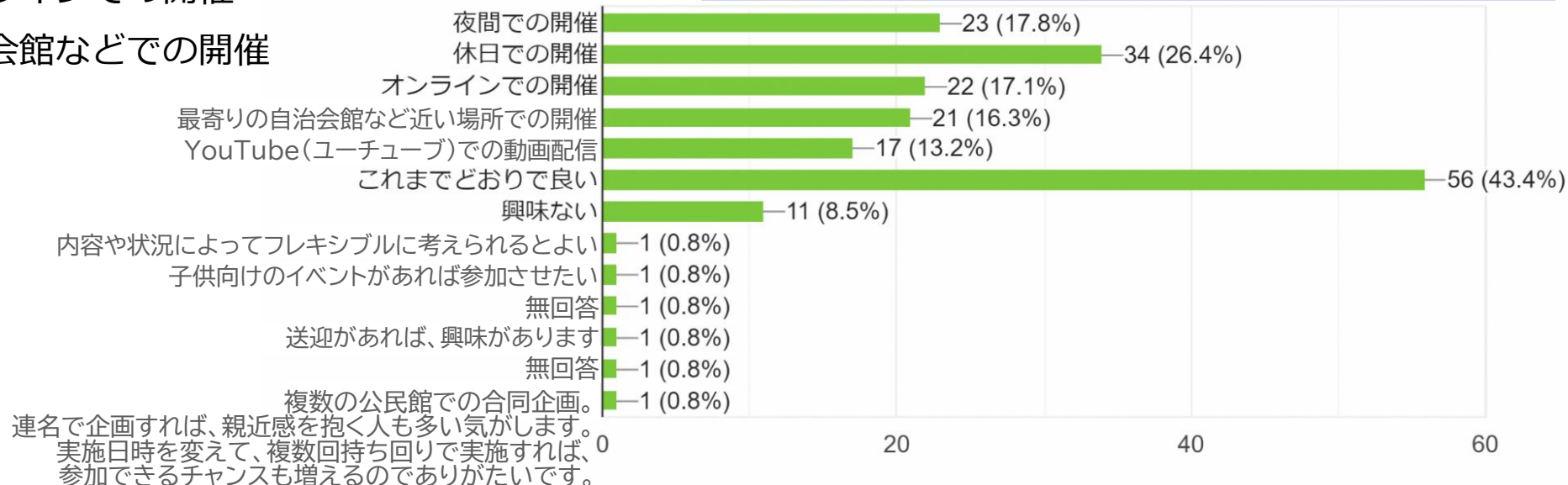
公民館の講座・イベントの開催方法

※複数回答

- 第1位 これまでどおりで良い
- 第2位 休日での開催
- 第3位 夜間での開催
- 第4位 オンラインでの開催
- 第5位 自治会館などでの開催

Point

「これまでどおりで良い」とする回答が最も多い反面、コロナ禍で、YouTubeやZoom等**オンライン**を活用した**新しい開催方法**を求める声や、**休日・夜間での開催**、交通の不便さゆえに**最寄りの自治会館等での開催**といった声など、多様なニーズがあることも明らかになりました。ほかにも少数ですが参考になるご意見をいただきました。



“これから”の小糸公民館について

小糸公民館が主催する講座について今後期待する内容【学習ニーズ】

※複数回答

第1位 趣味

第2位 防災・減災

第3位 地域の活性化・まちづくり

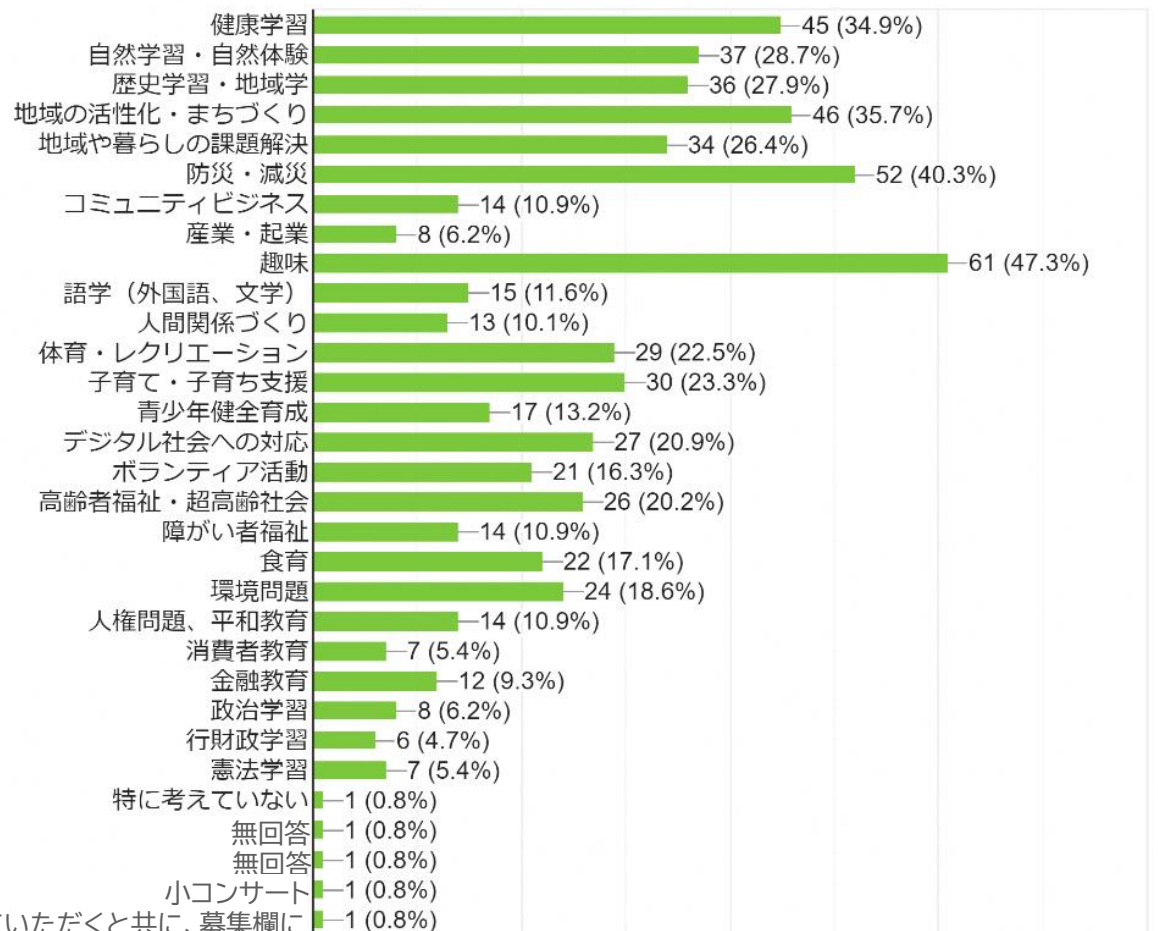
第4位 健康学習

第5位 自然学習・自然体験

Point

最も回答の多かった「趣味」は、**サークル・団体の体験会を公民館が共催**で行うことで団体支援につなげていく展開も考えられます。

「防災」については現在「**小糸防災力講座**」として組み始めています。「地域の活性化」は、**地域課題解決学習**として今後取り組むべき方向の一つと言えるでしょう。



ワーク形式で、1人でも参加できるもの。内容を工夫していただくと共に、募集欄に「単独参加歓迎」などとあると、新しい知り合いを作るチャンスがあるとワクワクします。また、資格取得に繋がるものが良いです。就業支援にもつながってくるのでは。

“これから”の小糸公民館について | 年代別学習ニーズ

| 20代

- 第1位 青少年健全育成
- 第2位 健康学習
- 第2位 自然学習・自然体験

| 30代

- 第1位 趣味
- 第1位 子育て・子育て支援
- 第2位 体育・レクリエーション
- 第3位 ボランティア活動
- 第3位 食育

| 40代

- 第1位 防災・減災
- 第1位 趣味
- 第2位 自然学習・自然体験
- 第3位 地域の活性化・まちづくり

| 50代

- 第1位 趣味
- 第2位 防災・減災
- 第3位 地域の活性化・まちづくり
- 第3位 地域や暮らしの課題解決

| 60代

- 第1位 趣味
- 第2位 健康学習
- 第3位 防災・減災

| 70代

- 第1位 健康学習
- 第2位 歴史学習・地域学
- 第3位 地域の活性化・まちづくり
- 第3位 防災・減災
- 第3位 趣味

| 80代以上

- 第1位 地域の活性化・まちづくり
- 第1位 高齢者福祉・超高齢社会
- 第2位 健康学習、防災・減災、体育・レクリエーション

Point

年代別に学習ニーズも異なるものもあることから、**世代横断でのテーマ型学習内容**と、子育て世代など**対象となる層を絞った学習内容**と、それぞれの展開が必要だとわかりました。